

第3回 多摩市再生可能エネルギー事業化検討協議会 議事録		番号	H26 議 003
		頁	1/2
議 題	1. 第2回議事録の確認 2. 議事・報告 ①集合住宅専門委員会 ②技術専門委員会 ③広報専門委員会 ④PPP 専門委員会 ＜各報告の意見交換＞ 3. 事務局より	日 時	2014年 8月 20日(水) 17:30 ~ 19:30
		場 所	多摩信用金庫 多摩センター支店 Win プラザ多摩センター
		出 席 者	水上貴央、桃井和馬、浦野卓男、町井則雄、藤田道男、 古屋将太、戸辺文博、山川陽一、西川省吾、磯貝浩二、 長谷川哲哉、江川美穂子、秋元孝夫、武内喜則、大木真 嗣、林久美子、高森郁哉、山川勇一郎、武内喜則、中瀬 剣正、梶川實、田中功、他（順不同、敬称略）
議 事 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回事業化検討協議会議事録（案）</li> <li>・ 集合住宅専門委員会 検討業務 報告</li> <li>・ 技術専門委員会 検討業務 報告</li> <li>・ 広報専門委員会 検討業務 報告</li> <li>・ PPP 専門委員会 検討業務 報告</li> </ul> <b>【別紙】</b> ①再生可能エネルギーに関する管理組合アンケート （簡易集計速報値） ②自己設置型モデルの概要		③太陽光発電設備の現地試験計画（案） ④太陽光発電所のEPCフォロー ⑤ 〃 遠隔監視システムネットワーク構成 ⑥ 〃 保守管理体制（案） ⑦公共施設の発電所建設及び実績 ⑧円卓会議 開催計画（案）
議 事 内 容 ( 要 約 )			
<p>1. 事務局 資料を元に前回議事録の確認依頼と次の資料訂正の連絡があった。 ・別紙④2頁中段C(調達)を(施工)に訂正</p> <p>2. 議事・報告 <b>【集合住宅専門委員会】</b> 専門委員より資料及び別紙①を使いアンケートの集計結果（8/20 現在回答：42件、回答率：24%）及び別紙②にて自己設置型モデルの検討結果の報告があった。 ＜アンケートについて＞ 質問1：個別にアプローチしたら前向きに検討してくれそうな所はあるか？ 応答1：説明を求められている所が2件あり、他に状況は判らない部分もあるが、それなりの感触がある。 質問2：大規模修繕周期に関連しているが、潜在的に毎年何件くらいが検討対象なるのか？ 応答2：屋根の修繕周期は概ね15年で、対象エリアの物件数をかければ出て来る。今回173件に配布したが1/15で平準化すると毎年12件くらいだが、修繕積立金状況などいろいろな要素をどれだけかけに行くかにより変わってくる。 意見1：それぞれの団地は戸数規模が違う。戸数が大きいほど住民の合意形成は難しくなるので、クロス的に見た方が良いと思う。 ＜自己設置型モデルについて＞ 質問1：これがあるから私たちを使ってくれるという明確な強みはあるか？ 応答1：異常の発見や定期メンテナンスなど、地元で一括して私たちが面倒を見るということは、それなり大きな強みになる。 質問2：全量売電が前提となっているが、余剰売電を活用したい集合住宅があるかも知れない。余剰売電と全量売電の考え方を聞きたい。 応答2：集合住宅の場合、各戸に配電する方法がないので、余剰売電で自家消費できないと思う。 質問3：新築マンションで最初から太陽光を設置しているところがある。この場合の情報を持っている人がいれば教え得て欲しい。 応答3：多摩市にもあるが、建築後の設置は難しいと聞いている。初期投資がかかるので、費用対効果が良いかどうか分からない。 質問4：自己設置モデルだと大規模修繕に合わせなくてもできる事情はあるか？ 応答4：屋根防水の問題があるので、別の時期にやるのは難しいと思われる。</p>			
～ 次ページへ ～			

～ 前ページより ～

- 意見1：早い段階で収入が上がるように見せられないか。長期間先に利益が出る話には説得力がない。  
 意見2：毎年修繕会計から一般会計へお金を借りる設定は難しいので、一括して一般会計に入れた方が良い。  
 意見3：何処か積極的な集合住宅を決めて税理士などを入れ、何ができるかなど含め具体的なシミュレーションができるとうい。

#### 【技術専門委員会】

専門委員より資料及び別紙③を使い「太陽光発電設備の現地試験計画(案)」、別紙⑤で「遠隔監視システムネットワーク構成」、別紙④で「太陽光発電所のEPCフォロー」、別紙⑥で「保守管理体制(案)」、別紙⑦で「公共施設の発電所建設及び実績」の検討結果の報告があった。

質問1：保守にかかるメンテナンスコストがはっきりするのは、いつになるか？

応答1：保守は太陽光発電協会のガイドラインでは4年に1回の定期点検が良いが、初期段階で様子を見て全体を把握して行きたい。シルバー人材センターとは今後3～4ヶ月で仕様を固めて行きたい。

質問2：長距離無線ネットワークは、どのくらいの距離まで可能か？

応答2：1～1.5kmといわれているが、距離より地形が影響し、恵泉女学園から鶴牧中学校までは尾根幹線道路などの起伏が多いため伝搬状態が悪くなっている。既存の親局にできるだけ収容して行きコストを安く抑えたい。

質問3：EPCの機器を購入は、見込を縦まとめ買いすれば安く購入できるのではないか？

応答3：今年度中に市場の動向や運用での使い勝手をみて、いくつか絞込みラインナップして行く。

#### 【広報専門委員会】

専門委員より資料及び別紙⑧「円卓会議 開催計画(案)」を使い、効果的な情報発信及び円卓会議の開催について報告があった。

質問1：円卓会議の目的は、間接的にマンション管理組合への「意識醸成」なのか、「世の中のために」という話なのか？

応答1：両方に行けたら良いが、直接的にメリットを事業者が訴えてもなかなか素直に入って行けない人も多いので、場を作り地域の人に話を聞いてもらうことが良いと思う。

意見1：災害時の保険を保険会社が話したり、賃貸業者が省エネの話をするということなら管理組合の人にも興味を持つと思うし社会的にも意義ある話となるので、マンション管理組合の興味から発想して、テーマ設定すると効果的ではないかと思う。

#### 【PPP 専門委員会】

専門委員より設計・施工段階における実施検証について、2か所は完工、3か所工事中、2ヶ所については施工仕様の庁内調整中及び住民説明会待ちとの報告と、運用段階実施検証について技術委員会と連動して実施している旨の報告が資料に沿ってあった。

質問1：発電容量も発電日数がほぼ同じ発電所だが、売電量が違うのは何か？

応答1：現在、施工会社と理由について調査中。パワコンに懸念があったが問題はなかった。パネルそのものか、東側に大きなケヤキの影が影響しているのか、など幾つかの原因が考えられるので、今後調査して明らかにして行きたい。

質問2：今の時点で他に課題はあるか？運用段階での契約関係などのボトルネックはないか？

応答2：今年度は昨年度ほどのボリュームはPPPにはないので、他の委員会と連動して足並みをそろえてやっていくことになる。現在は、検討すべき課題と言うより実務レベルでどう進めるのかという段階になっている。

委員長：全体として、コストがどう係るかの話が、この2回の協議会では重要になって来た。発電できるかどうか？の話から、コストはどうか？と言う話になり、一歩前進したと感じている。コストの話は頭が痛いところだろうが、しっかりと進めて欲しい。

#### 3. 事務局より

・次回日時： 10月9日(木) 17時30分～

場所： 多摩信用金 多摩センター支店 階下の会議室

以上